反射テスト　面積図　つるかめ算　仕事算　01

1.　A は 30 分, B は 40 分かかる仕事がある. 最初 A がこの仕事をして途中から B がしたところ, 合計で 36 分かかった. B が仕事をしはじめたのは, A がしてから何分後か求めよ.

（ S 級 35 秒, A 級 1 分 20 秒, B 級 3 分, C 級 5 分 ）

ⓒ 数学・算数を楽しむために（ http : //www.enjoymath.sakura.ne.jp/index.html ）

2. A は 25 分, B は 40 分かかる仕事がある. 最初 A がこの仕事をして途中から B がしたところ, 合計で 34 分かかった. B が仕事をしはじめたのは, A がしてから何分後か求めよ.

（ S 級 35 秒, A 級 1 分 20 秒, B 級 3 分, C 級 5 分 ）

ⓒ 数学・算数を楽しむために（ http : //www.enjoymath.sakura.ne.jp/index.html ）

反射テスト　面積図　つるかめ算　仕事算　01　解答解説

1.　A は 30 分, B は 40 分かかる仕事がある. 最初 A がこの仕事をして途中から B がしたところ, 合計で 36 分かかった. B が仕事をしはじめたのは, A がしてから何分後か求めよ.

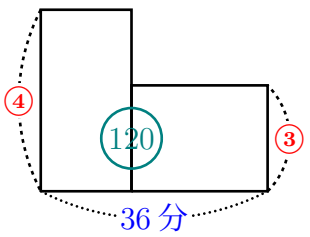
（ S 級 35 秒, A 級 1 分 20 秒, B 級 3 分, C 級 5 分 ）

★ 合計が 2 種類ある問題 ⇒ つるかめ算（面積図）
★途中で変化する問題 ⇒ **面積図**
★仕事算の面積図 ⇒
- **たて**　時間当たりの仕事量
- **よこ**　時間
- **面積**　全体の仕事量

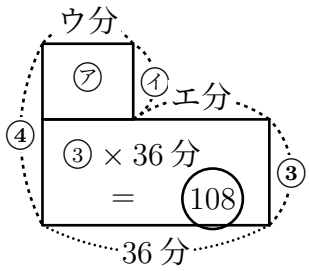
★ 仕事算　⇒　表
時間の比は　$30 : 40 = 3 : 4$　⇒　1 分当たりの仕事量は　$4 : 3$.
全体の仕事量は　④ × 30 分 = 120 .

	A	B
1 分の仕事量	④	③
分	30 分	40 分
全体の仕事量	120	120

合計 36 分で, 120 の仕事をするから,



⇒



ア = 120 − 108 = 12
イ = ④ − ③ = ①

よって, ウは　12 ÷ ① = 12 分　⇒　エは　36 − 12 = 24 分

A が仕事をした時間はウであるから　**12 分**

2. A は 25 分, B は 40 分かかる仕事がある. 最初 A がこの仕事をして途中から B がしたところ, 合計で 34 分かかった. B が仕事をしはじめたのは, A がしてから何分後か求めよ.

（ S 級 35 秒, A 級 1 分 20 秒, B 級 3 分, C 級 5 分 ）

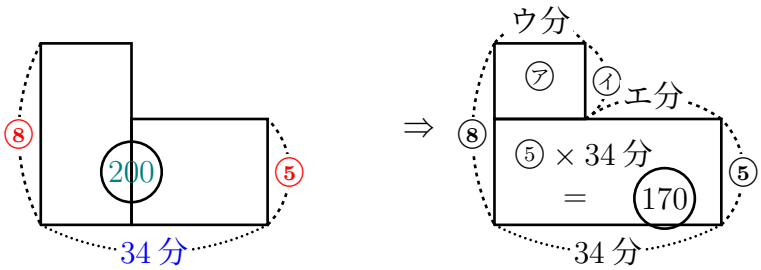
★ 仕事算 ⇒ 表

時間の比は 25 : 40 = 5 : 8 ⇒ 1 分当たりの仕事量は 8 : 5

全体の仕事量は ⑧ × 25 分 = 200

	A	B
1 分の仕事量	⑧	⑤
分	25 分	40 分
全体の仕事量	200	200

合計 34 分で, 200 の仕事をするから,



ア = 200 − 170 = 30

イ = ⑧ − ⑤ = ③

よって, ウは 30 ÷ ③ = 10 分 ⇒ エは 34 − 10 = 24 分

A が仕事をした時間はウであるから **10 分**